

## 公益社団法人 奈良県診療放射線技師会 会報

高  
苑ろくえん  
ニュース

No. 286

2022年11月10日発行

発行所：公益社団法人 奈良県診療放射線技師会 発行人：高谷 英明 編集人：高田 太輔  
〒634-0076 奈良県橿原市兵部町2-9 フレガビル4階 TEL 0744-24-6270

## 巻頭言

## 医療で求められること



公益社団法人 奈良県診療放射線技師会 財務委員長 山田 卓実

医療、あるいは医療従事者は「根拠に基づく医療 Evidence-Based-Medicine」を掲げ、患者に対して真摯に医療サービスを提供しなければなりません。この EBM は 1991 年頃に提唱され、それまでは科学的根拠がないまま専門家とされる人物や先人が行っていた治療をそのまま実施されていました。EBM には 3 つの要素から成り立つと定義されます。1 つ目は臨床研究による根拠です。根拠のない治療法は EBM には取り入れられません。2 つ目は患者の価値観です。どんなに効果が期待できる治療方法であっても、患者の価値観に沿わない治療は提供できません。3 つ目は医療従事者の熟練性、専門性です。根拠のある治療方法をもとに患者の価値観に合わせた治療方法あるいは検査方法を考え、提供することは医療従事者の責務になります。

我々、診療放射線技師にも求められることも非常に大きくなっています。2014 年に交付された診療放射線技師法の一部改正に伴い、診療放射線技師の業務が拡大されました。そして、2021 年には「厚生労働省告示第 273 号研修」が交付されたことは周知の事実と思います。さらに 2022 年度診療報酬改定において、「報告書管理体制加算（退院時 1 回）7 点」が新設されました。これは安心・安全で質の高い医療の提供を推進する観点から、画像診断報告書等の確認漏れによる診断または治療開始の遅延を防止する取組みに対し加算されます。様々な施設基準がある中で、「医療安全対策に係る研修を受けた専任の診療放射線技師等が報告書確認管理者として配置されていること」が必要となります。これは診療放射線技師が従来よりもさらに「医療安全」に参画して、より安心・安全な医療の提供を行い、当然のことながら「チーム医療」として、他職種と協働して患者への医療サービスの質の向上を成していくなければなりません。

我々は医療を生業にしている職業であるため、EBM を遵守しなければならず、EBM を遵守するためには日々変化する情報を収集し、知識・技術の向上のため研鑽を積まなければなりません。

奈良県診療放射線技師会でも 2 月に告示研修を開催します。ファシリテータを中心に銳意準備して、皆様がしっかりと研修が行えるように万全の体制にてお待ちしておりますので、まずは告示研修を受けて頂き、ご自身の知識・技術の研鑽を積んで頂き、情報交換の場として様々な情報交換をしていただき、医療に貢献して頂けることを願っております。



## 永年勤続表彰の栄に浴して

河村 吉章

先日9月16日（金）、神戸コンベンションセンターで開催された公益社団法人日本診療放射線技師会主催、第38回日本診療放射線技師学術大会において勤続50年永年表彰をいただきました。札幌オリンピック、高松塚壁画発見、日中国交正常化、沖縄日本復帰、そして私事ですが金婚50年と、今年は何かと「50年」尽くめの年である。このような年に50年永年表彰をいただけることは、何かのご縁と大変しあわせに感じています。

この賞は、長い間同じことを続けて来たことを称えるということなので、誰でもいつかはきっと到達するといえる単純な賞です。「能力が多少劣っていても、怪我無く無事に走り続ける馬はそれだけで名馬である」として「無事是名馬」という言葉がありますが、まさにその心境であります。しかし50年はやはり長いものです。日々無事であることがどんなに困難なことであったかを改めて噛みしめています。頑健な体に育てくれた父母に感謝、またご指導をいただいた諸先輩、労苦をともにした同僚や友人、後輩諸氏、そのほか数えきれないすべての人々に感謝したいと思っています。

久しぶりに訪れた神戸の街はとても新鮮に感じられました。三宮からポートライナーでメイン会場へ、受付に行くと「50年表彰おめでとうございます」と和やかな笑顔で白いリボンを手渡された。開始まで時間があったので、基調講演を拝聴する。「タスク・シフト・シェア」最近よく耳にするが、私には馴染の薄いことば。昨年5月に改正され10月から実施された新しい放射線技師法の中核をなすことらしい。聴き及ぶにつれて、その革新さに「まさしくこれから技師が目指すべきこと」と納得しました。

会場では旧知の西尾氏とばったり、彼の胸元にも白いリボンが。「貴方もですか?」と改めて旧交を温めあう。思い起こせば、彼とは1979年10月シンガポールで開催されたISRRT第3回AA会議に同行したのがきっかけであるから、43年来のお付き合いになる。以来このような学術大会には必ず彼の顔があつた。国際派の彼とは、なぜか国内よりも外国のイベントで会うことの方が多い。お互い永く技師会にお世話になっているねと、しみじみ語り合うことが出来ました。

今回の表彰式では全国から9名の方が参加されました。そんな中、私に代表登壇が許され、いささか面映ゆい気持ちではありましたが貴重な体験をさせて頂きました。公益社団法人兵庫県放射線技師会実行委員会の皆様のご配慮にも御礼申し上げます。

最後になりましたが、今回推薦いただいた公益社団法人奈良県診療放射線技師会高谷会長並びに役員の方々に心より感謝いたします。



# 奈良県診療放射線技師会

## 学術大会2022

### 「被ばく低減への道のり ～患者も術者もまもる～」

- 2022年11月27日(日) 13:00~17:00
- 橿原市商工経済会館 7階中ホール
- ハイブリッド開催(会場 + Live配信)
- 近畿の診療放射線技師会会員及び日本放射線技術学会近畿支部会員 無料

(非会員及び上記地域以外の会員 1000円)

- 事前登録制 申込は以下のQRコードもしくはURLからお願いします

<https://nara-gakujyutsu.peatix.com/view>



- 会員研究発表
- 教育講演

### 「眼の水晶体の被ばく限度の見直し等に関することについて」

厚生労働省奈良労働局 労働基準部長 高木 洋司先生

- シンポジウム

### 「検査の最適化にむけて」

主催： 公益社団法人  
e-mail： naraken@rokuen.jp

奈良県診療放射線技師会  
<http://www.rokuon.jp/>





## (公社) 奈良県診療放射線技師会 学術大会 2022

「テーマ：被ばく低減への道のり～患者も術者もまもる～」

2022年11月27日（日）開催場所：橿原市商工経済会館 7階中ホール

13:00 開会の辞

奈良県診療放射線技師会 会長 高谷 英明

13:05~14:15 会員研究発表

座長：奈良県立医科大学附属病院 野儀 明宏

演題1 「一般撮影における小児胸部撮影条件の検討」

奈良県総合医療センター 河合 美穂

演題2 「下肢長尺側面撮影における撮影体位の安定性」

天理よろづ相談所病院 堀 菜緒

演題3 「治療計画用 CT撮影における被ばく低減に向けた撮影条件の最適化」

近畿大学奈良病院 大坪 建太朗

演題4 「小児 CT 検査における被ばく線量の低減に向けての検討」

奈良県総合医療センター 松井 香奈

演題5 「PET 検査における診療放射線技師の被ばく線量について」

社会医療法人高清会 高井病院 大島 明子

演題6 「前立腺がん放射線治療における超音波イメージガイドシステムを使用したインター

ナルマージンの指定について」 奈良県総合医療センター 辻 篤尋

演題7 「サマースクール「君もレントゲン博士だ」～YouTube動画投稿を経験して～」

市立奈良病院 中西 有里

14:30~15:20 教育講演

座長：西奈良中央病院 細川 倫之

「眼の水晶体の被ばく限度の見直し等に関することについて」

講師：厚生労働省奈良労働局

労働基準部長 高木 洋司 先生

15:30~17:10 シンポジウム「検査の最適化に向けて」

座長：近畿大学奈良病院 今井 俊輔（放射線管理士・被ばく相談員）

近畿大学奈良病院 櫻井 亮介

1部 「当院における DRLs を活用した術者被ばく低減に向けた取り組み」

講師：市立奈良病院 秋山 敬純

2部 「一般撮影の術者被ばくを考える」

講師：高井病院 土井 司

3部 「小児の性腺防護について」

講師：田北病院 小林 勝宏

（放射線管理士・被ばく相談員）

4部 「当院における CT 等の被ばく線量管理について～DRLs2020 を踏まえて～」

講師：天理よろづ相談所病院 宮西 忠史

ディスカッション

17:10 閉会の辞

奈良県診療放射線技師会 副会長 池口 俊孝



## 公益社団法人 奈良県診療放射線技師会 創立70周年記念式典

“たゆまぬ進化 さらなる真価”

<開催日・開催会場>

2022年11月19日（土） ホテル日航奈良 4階 飛天の間

<式次第>

13:00 受付開始

13:30 開場

14:00～15:00 記念講演

「酒の神が鎮まる地 奈良県三輪の歴史とみむろ杉の酒造り」

今西酒造株式会社 第十四代蔵主 今西 将之 氏

15:20～15:50 特別公演

「診療放射線技師の将来と役割」

公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長 上田 克彦 氏

15:50～16:50 記念式典

17:00 閉会



## &lt;記念講演講師紹介&gt;

今西酒造株式会社 第十四代蔵主 今西 将之 氏



## ◆プロフィール

同志社大学商学部卒。現株式会社リクルート入社。

中小～一部上場大手企業まで幅広く採用戦略立案/支援に携わり、TOPセールスとしてMVP賞はじめ多数の賞を受賞。

先代の急遽に伴い、2011年11月より家業に戻り、十四代目蔵主代表取締役に就任。就任後は多角経営をして経営不振であった家業の立て直しを図り、酒造業以外の事業は全て売却し、本業に集中。抜本的改革を行い、酒質向上を実現させる。

全国新酒鑑評会5年連続金賞受賞、仙台日本酒サミット1位、関西酒質向上委員会1位等、数々のコンペティションで表彰をされている。

醸造哲学は「清く、正しい、酒造り」。

酒の神が鎮まる地・三輪だからこそ表現出来る酒造りを行う。

代表銘柄：三諸杉(みむろすぎ)、みむろ杉、今西

## &lt;参加申込み&gt;

記念講演、記念式典の参加費は無料です。COVID-19感染症拡大防止のため、

事前申込、先着100名様を定員とさせていただきます。

右記のQRコードよりお申し込みください





## 北・西地区懇話会 Web 開催報告

組織委員会 委員  
高田 太輔

2022年10月7日（金）、北・西地区懇話会をWebにて開催いたしました。今回の懇話会ですが、当初は7月29日に橿原市役所分庁舎（ミグランス）の会場で久しぶりの現地開催を行う予定でした。しかしながら新型コロナの変異株がふたたび流行し、奈良県下の施設においてもクラスターが発生する状況が続きました。そのため、やむなく延期ましたが、現地開催の見通しがはっきりとしないと判断しWeb開催となりました。また、前年度の懇話会では運営委託会社と契約したWeb開催を行いましたが、今回は組織委員スタッフによる独自開催となりました。プラットホームにZoomを利用し、事前に画面共有や接続リハーサル、アクシデント時の対応について確認を行いました。

今回の北西地区懇話会の内容ですが、第1部は奈良県西和医療センター上田拓先生による発表「発熱外来クリニックの運用とCOVID-19感染対策」、第2部は奈良県総合医療センター山下哲児先生による発表「奈良県総合医療センターのCOVID-19感染対策について」、第3部はディスカッションでした。第1部では各モダリティの対応や感染対策、スタッフの昼食時の工夫など、放射線検査とスタッフの感染対策を講演していただきました。第2部では、主に救命救急寄りの感染対策やECMO導入時の対応について講演していただきました。そして、第3部のディスカッションでは、着用するマスクの種類、検査後の所見対応、CT・MRI検査後における換気方法や換気時間などについて議論しました。施設によって、様々な考え方や対応があり、たくさんの意見が飛び交いました。

参加施設と人数は11施設、22名でした。大きなトラブルもなく懇話会が進行できたことにホッとしたとともに、今後の独自開催においての自信につながりました。組織委員会では今後とも「ウィズコロナ」の状況の中で、会員の皆様とのディスカッションできる場を提案していきたいと思います。ぜひ、ご参加いただけると幸いです。

最後になりましたが、今回のWeb開催にあたり、ご発表いただいた演者の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 2022年度 放射線フェスタⅡ 参加記

組織委員会 委員  
古川 卓也

2022年10月16日（日）組織委員会の公益事業として、「放射線フェスタⅡ」をならファミリーらくだ広場（奈良市）にて開催いたしました。

イベント内容としましては、超音波を用いた骨密度測定と結果説明、放射線被ばく相談員による医療放射線被ばく相談、タペストリー掲示による放射線検査・画像の説明およびがん検診の受診啓発を行いました。私自身は骨密度測定を中心に担当させていただきました。

当日は気持ち良い秋晴れの中、老若男女を問わず66名の方々が来場くださいり、骨密度測定を実施していました。会場の都合上、従来実施しているポケットティッシュ配布による広報を実施できなかったことを考えると、まずまずの来場者数だったのではないかと感じます。

骨密度測定の結果説明も初めてさせていただきましたが、日常の病院業務では、検査結果に関する話では患者様の表情が硬いことが多いですが、このようなイベントでは、結果の良し悪しにかかわらず、和やかな表情で結果を聞いておられたことが印象的でした。

また、来場者様との会話の中で、普段病院で患者様を感じておられることについて多くのご意見をお聞きすることができ、自施設の環境改善にも役立つ貴重なご意見をいただく機会となりました。

最後になりましたが、まだまだ新型コロナ感染症の影響が残る中、開催場所をご提供いただきましたならファミリーご担当者様、本イベント開催に尽力いただいた組織委員をはじめとする全ての方々に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。





## 安全管理委員会だより vol.5

### 奈良県医療安全推進センター 第34回医療安全管理者ネットワーク会議参加記

#### ～患者私物を取り間違えによる感染の危険性が発生した～

安全管理委員会 委員長  
吉田 真大

令和4年8月31日（水）14時から第34回医療安全管理者ネットワーク事例検討会が開催され、関係団体として公益社団法人奈良県診療放射線技師会から参加させていただきました。平日の業務時間内にも関わらず総勢55名の方々が参加しておられ医療安全に対する意識の高さを感じる会議となりました。

今回のテーマでは「患者私物を取り間違えによる感染の危険性が生じた」事例を担当施設より紹介していただき、その事例に対しオンラインでグループワークを行いました。

今回の事例は脳外科、脳神経内科の患者様が入院されている病棟で生じており、患者様の特性としては高齢で認知症の患者様、ADLが全介助の患者様が多い病棟で夜間帯に起こった事例でした。事例の概要として夜勤看護師Aは1つのワゴンに患者7名分の口腔ケアセットを準備し実施した。患者7名の口腔ケア終了後の物品を洗浄後、各患者に戻す際に、患者M氏と患者N氏の物品を置き間違えた。午前10時30分に言語聴覚士が担当患者M氏のリハビリテーションとして口腔ケアを実施するため訪室した。床頭台にある口腔ケアセットが患者の物と思い込み、名前の確認をせずに準備し口腔ケアを実施した。口腔ケア終了後、使用物品を洗浄した際に、口腔ケア物品に記載された名前が同室患者N氏のものであり、取り間違えに気がついた。この時の患者M氏が感染症MRSA陽性であった。

グループワークでも様々な意見が出てベッドサイドにはMRSAの感染症である目印があるが口腔ケアセットにも目印を付ける、口腔ケアセットを準備する看護師と使用する言語聴覚士で氏名の確認をダブルチェックする、口腔ケアセットをディスプレイにするなどその他たくさん意見がありました。

我々、診療放射線技師も検査を行う際に患者様の確認を行うように教育されています。もちろん普段の業務では問題なくできても検査が混んできて焦ってしまう、また意思疎通ができない患者様であった場合に思い込みで検査を開始して撮影する前に患者誤認に気づき、ヒヤッとした経験が私もあります。

今回の事例の中で特に良い意見だと個人的に感じたものがありました。今回の事例発生要因の1つで夜勤帯の看護師Aが口腔ケアセットの準備をしていた時間帯は午前6時～7時というナースコールが頻回となる時間帯で、その対応をしながら作業を行っており焦りがあったという要因に対して協力し合える職場風土を作るということで「応援がほしい」と声を出せる職場の環境作りを行うことが大事だという意見です。普段は問題なく行える業務も焦りなど普段の精神状態と異なる時などミスが起こりやすいため助けを求められる環境を作ることで未然に防ぐことに繋がると思います。私自身も自分の職場で助けを求められる、または自分に余裕があるときはこちらから声をかけられる職場の環境を作っていくようにしていきたいと考えさせられる良い機会となりました。



## 安全管理委員会だより vol.6

### 奈良県医療安全推進センター 第35回医療安全管理者ネットワーク会議参加記 ～MRI撮影室に磁性体車いすで入室した事例～

安全管理委員会 委員長  
吉田 真大

令和4年9月21日（水）14時から第35回医療安全管理者ネットワーク事例検討会が開催され、関係団体として公益社団法人奈良県診療放射線技師会から参加させていただきました。平日の業務時間内にも関わらずたくさんの方々が参加しておられ医療安全に対する意識の高さを感じる会議となりました。

今回のテーマでは「MRI撮影室に磁性体車いすで入室した事例」で担当施設より事例を紹介していただきその事例に対しオンラインでグループワークを行いました。今回の事例は入院患者が、病棟車いす（磁性体）でMRI検査室に来室され、そのまま病棟車いすでMRI撮影室内へ入室。問題なく検査が終了した後に非磁性体のMR用車いすに乗り換えていたことが発覚した。患者に影響はなかった。

グループワークでも活発な意見交換があり、病棟車いすとMRI用車いすが見た目ですぐに判断がつくようになりますか？訪室した際にまず車いすに乗り換えてから問診を行うというルールを徹底するなど、その他にもたくさんの意見がありました。また、グループワークで出た意見の中にはコミュニケーションエラーもありました。訪室した際に担当した看護師がその患者様から離れる際に撮影者に「お願いします」とだけ伝えて離れたとのことでした。入室前にはチェックリスト（金属の持ち込みを事前に防ぐ確認事項で問診を確認する、金属探知機でチェックをする等）の確認があるが「チェックリストの確認をお願いします」なのか「チェックが終わっているからその後の撮影をお願いします」なのかMRI担当看護師と撮影者との間で患者情報を共有できていなかったことも要因として指摘されておりました。

今回の事例を聞いて私自身もMRIの検査に携わっておりますが正直金属の持ち込みに関してのヒヤリハットは何例も提出した経験が思い出されます。ヘアピンなどを持ち込んだだけでは患者様にさほど不利益はないかもしれません。今回は患者様に不利益はなかったとのことですが提示していただいた事例のように車いすなど大きなものを持ち込んでしまった場合には一步間違えると大きな事故につながる危険性があります。もちろん、小さなものなら持ち込んでも良いのではなく金属の吸着事故をなくすためにはどのような小さな金属も持ち込まないことが基本になります。小さなものでも補聴器など持ち込んでしまうと破損してしまい患者様に大きな不利益を生じさせてしまいます。また、MRIの検査に常時携わるスタッフはもちろんのこと、患者を移送してくださる病棟や外来スタッフ、検査を依頼する医師、検査の説明を行う看護師などMRIの検査を受ける患者様に関わるスタッフにもMRIの吸着事故、金属の持ち込みに関する教育を行っておりますが定期的に教育講演を実施するなどの再度、周知徹底させていくことが必要だと感じさせられる機会になりました。



## 福利厚生イベントのご案内

平素より福利厚生事業にご協力いただきましてありがとうございます。

毎年恒例となっていたハイキング＆BBQ大会が、COVID-19の感染拡大があり2年間自粛してまいりました。本年度は大勢での食事はしばらくの間は自粛し、ハイキングを企画させていただきました。

会員様が常日頃、職場や居住地としている『奈良』をより知り、また奈良の地に地元を離れ就職された方々にも奈良を知つてもらえたたらというコンセプトで『飛鳥 石舞台古墳 ハイキングツアー』を企画し、11月6日（日曜日）秋晴れの中で行わせていただきました。ハイキングコースは近鉄飛鳥駅を出発し高松塚古墳、石舞台古墳、岡寺、亀石を見て近鉄飛鳥駅に戻り、上り下りのコースでしたが、参加者も秋の紅葉などを見ながらの運動となりました。

また、11月23日には3年ぶりとなる『近畿地域診療放射線技師会野球大会』が和歌山県で行われることとなり、部員一同楽しみしております。今年度は登録が終わりましたが、来年度も開催予定ですので野球に興味がある、野球経験者という方は是非ご参加ください。

新年情報交換会は現在のところCOVID-19感染の状況を鑑み、大勢での食事はもう少しの間は自粛することを念頭に置いておりますので、予定も未定となっております。しかし、今後の状況次第では開催する可能性もありますので、決定次第またご案内させていただきます。

福利厚生委員会として本年度、来年も事業に備えて準備し、会員様の健康を第一に考えた企画を提案していく予定です。引き続きよろしくお願いいたします。

福利厚生事業に関するお問い合わせは、  
担当理事 玉井（tamai@rokuen.jp）までお願いします。

## 2022年度第3回定期理事会議事録

日 時：2022年9月20日(火)19時02分～21時04分

場 所：奈良県立医科大学 厳檜会館 大ホール

〒634-8522 奈良県橿原市四条町840番地

電話：0744-22-3051（代）

出席理事：高谷英明、池口俊孝、小林勝宏、竹中智士、  
野儀明宏、日浦之和、秋山敬純、山田卓実、  
辻村恭平、細川倫之、玉井宏征、吉田真大、  
高田太輔、錦一聰、古川卓也

出席監事：水野吉将、高嶋敏光

会長挨拶：今年度の事業に関しては理事や外部委員の皆様方が知恵を出し合って開催方法を工夫しながら概ね順調に開催されている事、非常に有難く感謝申し上げます。また、7月30日、31日は奈良県コンベンションセンターにて告示研修を行いました。教育委員長の主導の下、ファシリテータの皆様のお陰で大きな事故もなく開催する事が出来ました。重ねてお礼申し上げます。また、11月19日（土）には創立70周年記念式典を開催いたします。準備期間は残り僅かとなりましたが何卒宜しくお願ひ申し上げます。今回も活発なご審議のほどお願い申し上げます。

定数確認（第30条）

出席理事15名、出席監事2名

定款30条により、理事会の成立が宣せられた。

議事録作成人ならびに署名人の指名

議 長（第31条）：高谷英明 会長

議 事 錄 作 成 人：竹中智士常務理事

議事録署名人（第32条）：水野吉将監事、高嶋敏光監事

### I. 議案（報告事項）

#### 1. 会長報告

##### （1）奈良県関係

9月22日（木）立入検査 当会事務所にて

##### （2）奈良県診療放射線技師会関係

###### ① JJ合同会議について

今後は技師会より各府県会長6名と技術学会側より6名の計12名で行う。2～3か月に1度の割合で会議を行っていく。

#### ② 近畿会長副会長会議について

ア ファシリテータの増員について

最大6名のファシリテータ研修をWebにて10月中に行う。各県から推薦を行う事。

イ 11月23日（木・祝）

第69回近畿地域診療放射線技師会野球大会

開催場所：和歌山県貴志川スポーツ公園

野球場

ウ 女性の入会が増えてきている。

女性理事の割合20%を目指したい

エ 各府県のイベント開催予定を共有していく→専用のフォーマットを使用する。

オ 近畿地域診療放射線技師会学術大会

2023年2月12日（日）

大会テーマ「次世代へ向けて、継続と進歩」

～Continuation and evolution for the next generation～

開催場所：ピアザ淡海（ハイブリッド開催）

シンポジウム「告示研修の現状・進歩」に対しシンポジスト1名

各県より演題募集（2演題）テーマは自由

カ 滋賀県の原子力災害訓練

11月6日（日）2会場同時、長浜市・高島市で大規模訓練を行う。各府県に参加要請あり。

（2名程度）

#### （3）日本診療放射線技師会関係

##### ① 第38回日本診療放射線技師学術大会開催

事前登録者が約1600名 三役が実行委員。

##### 【質疑】

古川理事：近畿の技師会イベントを行う際の参加料について、奈良県の技師会員、近畿他府県の技師会員、近畿の技術学会員が同じくくりとなることは分かりましたが、発表資格についてはどうなりますか。

高谷会長：発表資格については、従来通りそれぞれの開催県に所属する技師会員のみとなります。

##### 【審議事項】なし

##### 【他府県からの発行物】

（公社）宮城県診療放射線技師会

MART会報 98 2022.9. Vol.132

（公社）福島県診療放射線技師会



## 福島放技ニュース 2022 VOL.189

(一社) 栃木県診療放射線技師会

情報誌 あすたーと 2022 Aug Vol.51

(公社) 埼玉県診療放射線技師会

埼玉放射線 第269号

(公社) 東京都診療放射線技師会 東京放射線

2022年9月号 Vol.69 No.808

(公社) 神奈川県放射線技師会 かながわ放射線だより  
「KART」 Vol.75 No.2

(公社) 静岡県放射線技師会

SHIZUOKA JOURNAL Vol.32 No1. 2022(通巻 214 号)

(公社) 岐阜県診療放射線技師会

岐阜県診療放射線技師会雑誌 第98巻

&lt;近畿地域診療放射線技師会関係&gt;

## 【発刊物】

(公社) 大阪府診療放射線技師会

大放技会報 No.345 2022年7月

(公社) 京都府放射線技師会

京放技ニュース 8/2022 通算 747号

京放技ニュース 9/2022 通算 748号

&lt;医療関連団体関係&gt;

## 【他団体からの発刊物】

奈良県医師新報

vol.846 July 2022

vol.847 August 2022

(一社) 奈良県薬剤師会 会誌 第192号 2022年6月

(一社) 奈良県臨床検査技師会

奈臨技 ニュース No.337 Jul.2022

奈臨技 ニュース No.338 Aug.2022

奈臨技 ニュース No.339 Sep.2022

(公社) 日本歯科技工士会

「日本歯技」8 Aug 2022 第638号

「日本歯技」9 Sep 2022 第639号

千代田テクノル

FB News 2022 8 No.548

FB News 2022 9 No.549

奈良県結核予防会

結核・肺疾患予防のための複十字 No.405 2022

BUTSURYO SHINBUN No.23

## 2. 副会長の活動報告

## 【池口副会長】

診療放射線技師法一部改正に伴う令和3年厚生労働省告示 第273号研修における実技研修 (奈良県コンベンシ

ヨンセンター) 2022年7月30日(土)・31日(日)

2022年度第3回学術委員会 Web参加

2022年8月2日(火)

第2回創立70周年記念式典準備会議 Web参加

2022年8月9日(土)

2022年度奈ラーニング (巖槻会館大ホール)

2022年8月25日(木)

第3回創立70周年記念式典準備会議 Web参加

2022年8月29日(月)

第2回安全管理委員会 Web参加

2022年8月30日(火)

2022年度第1回近畿地域診療放射線技師会教育委員会議 (公益社団法人大阪府診療放射線技師会事務所)

2022年9月3日(土)

2022年度第1回近畿地域診療放射線技師会会长・副会長会議 (公益社団法人大阪府診療放射線技師会事務所)

2022年9月3日(土)

第38回日本診療放射線技師学術大会(神戸コンベンションセンター) 2022年9月16日(金)～18日(日)

## 【小林副会長】

診療放射線技師法一部改正に伴う令和3年厚生労働省告示 第273号研修における実技研修 (奈良県コンベンションセンター) 2022年7月30日(土)・31日(日)

第2回創立70周年記念式典準備会議 Web参加

2022年8月9日(火)

第3回組織委員会 Web参加 2022年8月17日(水) 放射線フェスタ (近鉄百貨店橿原店)

2022年8月21日(日)

2022年度奈ラーニング (巖槻会館大ホール)

2022年8月25日(木)

第3回創立70周年記念式典準備会議 Web参加

2022年8月29日(月)

第2回安全管理委員会 Web参加 2022年8月30日(火)

2022年度第1回近畿地域診療放射線技師会会长・副会長会議 (公益社団法人大阪府診療放射線技師会事務所)

2022年9月3日(土)

第38回日本診療放射線技師学術大会(神戸コンベンションセンター) 2022年9月16日(金)～9月18日(日)

## II. 常設委員会

1. 総務関連事項 (竹中智士常務理事)

7月11日から9月10日まで



## (1) 新入会員 4件

76100、76264、76273、76387

## (2) 退会 0件

## (3) 転入 0件

## (4) 転出 1件

## (5) 異動 10件

## (6) 新規施設登録 0件

## (7) 施設情報変更 0件

## (8) 賛助会員 0件

## (9) 慶事・弔事 0件

## (10) 会員数

(公社) 奈良県診療放射線技師会正会員 441名

奈良県のみ 2名含む

(7月10日 第2回定例理事会報告時 438名)

備考：公益社団法人日本診療放射線技師会関連

奈良県会員 439名 仮会員 2名 (9月10日現在)

## (11) イベント・カウント申請、完了

## ① 申請

7月17日 2022年度組織事業 北・西地区懇話会  
(7/29→延期)

7月17日 2022年度 奈ラーニング(8/25)

8月16日 放射線フェスタ 2022 (8/21)

8月16日 第114回 奈良県MR Conference 定例研修会 (9/30)

9月 6日 2022年度組織事業 北・西地区懇話会  
(10/7で再申請)

## ② 完了

8月10日 奈良 CT Conference 7月 Web 定例会  
(7/27)8月23日 告示研修（実技研修）奈良県 2022\_7\_30  
(7/30)8月23日 告示研修（実技研修）奈良県 2022\_7\_31  
(7/31)

8月23日 診療放射線技師のためのフレッシャーズセミナー (奈良県 2022/7/9 ~ 7/23)

8月29日 放射線フェスタ 2022 (8/21)

## (12) その他

前回の理事会でお話がありました会費未納による除籍者の再入会については、定款改正等委員会の決定に従い対応したいと思います。

【質疑】なし 【審議事項】なし

## 2. 財務関連事項 (山田卓実財務委員長)

## (1) 中間報告

科目	2022年度 9月 1日 現在 会計中間報告							
	公益目的事業会計				経常費用			
	公1		公2		公3			
会場費	100,000	24,640	25%	100,000	0	0%	0	
旅費交通費	100,000	0	0%	100,000	0	0%	0	
通信運搬費	100,000	0	0%	100,000	0	0%	150,000	129,840 87%
消耗品費	50,000	14,080	28%	50,000	0	0%	117,430	
印刷製本費	150,000	0	0%	150,000	0	0%	800,000	441,480 55%
賃借料	0	0	####	0	0	0%	0	
諸謝金	300,000	0	0%	400,000	0	0%	0	
支払手数料	0	0	####	0	0	####	50,000	1,335 3%
会議費	0	0	####	0	0	0%	0	
福利厚生費	0	0	####	0	0	0%	0	
研究助成費	0	0	0%	0	0	0%	0	
雑費	0	0	####	0	0	####	0	

科目	その他事業会計							
	日放技及び近畿地域放射線技師会との 連携による学術大会				研究会・勉強会への助成事業及び 海外研修生の受入れ事業			
	他1		他2		他3		会員に対する福利厚生事業	
会場費	0		0		0		0	
旅費交通費	0		0		0		0	
通信運搬費	0		0		0		0	
消耗品費	0		0		0		0	
印刷製本費	0		0		0		0	
賃借料	0		0		0		0	
諸謝金	0		0		0		0	
支払手数料	0		0		0		0	
会議費	0		0		0		0	
福利厚生費	0		0		0		0	
研究助成費	0		0		100,000	0%	0	
雑費	0	37,494		0	0		0	

科目	法人会計		予算執行率
	予算額	支出額	
管理費			
総会費	50,000	0	0%
旅費交通費	150,000	46,180	31%
通信運搬費	100,000	57,295	57%
消耗品費	100,000	10,143	10%
印刷製本費	100,000	195,000	195%
支払手数料	100,000	2,490	2%
雑費	200,000	604,225	302%

## (2) 賛助会員への会費請求

【質疑】なし 【審議事項】なし

## 3. 学術関連事項 (細川倫之学術委員長)

## (1) 2022年度 奈ラーニングについて

## ① 開催報告

イベント開催報告書			公益社団法人奈良県診療放射線技師会
委員会	学術	イベント名	会員(無料)
報告者	細川倫之	2022年度奈ラーニング	40名
日時 令和4年8月25日 19:00~20:00			
場所 聰謙会館			
プログラム・内容:			
学術事業 2022年度奈ラーニング 「初心者のためのAI入門」 「AIの現状と活用による新しい医療価値の創出」 -CANON AIリューションズブランドのご紹介- キャノンディカルシステムズ株式会社 関西支社営業推進部			
コメント: 配信会社に依頼せず自分たちのみでハイブリッド開催を実施した。会場参集には会場型講習会開催ガイドラインを遵守し感染対策を徹底し、安全な運営が行われた。配信にはトラブルもあったが無事最後まで開催することができた。			

## 決算 :

収入	科 目	本年度予算	本年度決算
	参加費	0	0
	事業対策費	9,400	5,264
支出	会場費 会場使用料	0	0
	会場費備品費	3,000	0
	交通費 (学術委員)	4,440	2,640
	印刷費	2,000	2,220
	通信費(動画 配信経費)	0	0
	雑費 (封筒代)	0	110
	消耗品費 (水 3本)	0	294
計		9,400	5,264

収支差額 : ¥0

- ア 社会活動カウントの申請をしていなかった。
- イ Web 視聴者に参加時の名前変更を指示していなかったため申込者の内だれが視聴しているか分からなかつた。
- ウ 事前にシステムチェックをしていなかったため上手く Web 配信ができなかつた。

## (2) 奈良県診療放射線技師会 学術大会 2022について

開催日時：2022年11月27日(日)13:00～17:00 予定

開催場所：橿原市商工経済会館 7階大ホール

開催方法：ハイブリット開催（会場+Live配信）

会 費：会員（近畿の技師会員および近畿の技術学会会員）：無料、非会員：1000円

テ ー マ：「被ばく低減への道のり  
～患者も術者もまもる～」

プログラム：別途資料参照

### ① 会員・非会員について

会員の適用範囲を奈良県の技師会員のみにするのか近畿を含めるのか。また、近畿の技術学会の会員を会員とするのか。

### ② 参加登録フォームについて

配信業者と契約せず自分たちで開催させるため参加登録のためのシステムにイベントコミュニティ管理集客サービス Peatix（ピーティックス）を使用した。

### ③ Zoom のウェビナー登録について

配信業者と契約せず自分たちで開催させるためZoom のウェビナーを使用し配信を行いたい。

Zoom ウェビナーのオプション（アドオン料金）

参加人数	1ライセンスあたりの年払いの料金	1ライセンスあたりの月払いの料金
500名まで	9万2800円 (※月払いより3万5600円お得)	1万700円

	科 目	2021 年度予算	本年度予算
収入	参加費	10,000	100,000
	事業対策費	836,400	164,732
	計	846,400	264,732
支出	会場費 会場使用料	0	85,800
	会場備品費	0	17,050
	Web 開催費用	653,400	36,200
	講師謝金（座長、シンポジスト）	95,000	26,000
	交通費(理事・学術委員)	20,000	10,000
	会議費（抄録・予行実行委員会）	3,000	33,550
	印刷費（ポスター・抄録集・名札）	60,000	53,132
	通信費	10,000	0
	雑費	5,000	3,000
	計	846,400	264,732

### 会場費内訳

大ホール（13時～17時、日祝2割増）	55,000×1.2	66,000
17時以降延長1時間×日祝2割増	16,500×1.2	19,800
計		85,800
会場備品内訳		
有線マイク2本	1,100×2	2,200
無線マイク2本	1,100×2	2,200
音響設備		2,200
プロジェクター		6,050
スクリーン（230インチ）		1,100
インターネット有線LAN		

3,300

計

17,050

### Web 開催費用内訳

Peatix（非会員100人参加手数料）	1,000×100×4.9%+¥99×100	14,800
Zoom ウェビナー費用（10月11月の2ヶ月間）	10,700×2	

21,400

計

36,200

### 講師謝金内訳

シンポジスト・座長（交通費込み）	講師5,000×4	座長3,000×2	26,000
計			26,000

### 大会当日交通費内訳

理事・学術委員	10,000
計	10,000

### 会議費内訳

予行演習用会場費 第1会議室（18時～22時）	22,550
会場備品 無線マイク2本	1,100×2

マルチプロジェクター 5,500

### インターネット有線LAN

3,300	
計	33,550

### 印刷費内訳

ポスター	4,632
抄録集	35,000
名札	2,500
看板・垂れ幕	11,000
計	53,132

### 雑費内訳

お茶・水	1,000
当日出費（文具、駐車場代）	2,000
計	3,000

## (2) 県民公開講座について

開催日時：2023年1月29日（日）

開催場所：奈良県社会福祉総合センター（予定）

テ ー マ：「小児救急」

講師構成：

【診療放射線技師の立場から】未定

【多職種の立場から】

奈良県地域医療連携課緊急医療対策係（予定）

【医師の立場から】

奈良県立医科大学附属病院小児科医師（予定）

### 【質疑】

山田理事：学術大会の講師謝金についてですが、合って

いますか、抜けているように思うのですが。

細川理事：教育講演は厚生労働省の方に依頼をしていますが、無料で講演していただけます。シンポジストと座長のみになります。

### 【審議事項】

奈良県診療放射線技師会 学術大 2022 予算案について



イ JARTより告示研修のスタッフ増員は出来ない  
ウ 県民公開講座での県民への広報手段として、大阪府診療放射線技師会ではラクスルを利用しているとのこと。(京都府放射線技師会で見積もり試したところ一軒家、ホテルオーベル半径1km弱、4200部で6.5万)

エ 兵庫県放射線技師会より、第38回日本診療放射線技師会学術大会への一般参加要請。

#### ④ 告示研修(実技研修)

奈良県 2022年12月17日・18日(3・4回目開催)

開催場所：奈良県立医科大学

開催日時：

2022年12月17日(土)9:00～18:00(3回目)

2022年12月18日(日)9:00～18:00(4回目)

定 員：48名(計：96名)

募集期間：2022年11月初旬予定

広 報：会員へのインフォメーションメール  
施設への案内郵送

#### 予算案

	科目	奈良県 2022.12.17 (3回目) 予算	奈良県 2022.12.18 (4回目) 予算
収入	事業対策費	17,000	17,000
	講師料(JART)	184,000	184,000
	会場費・設備使用料 (JART)	0	0
	通信費(JART)	6,216	6,216
	計	207,216	207,216
支出	講師料(JART)	184,000	184,000
	通信費(JART)	6,216	6,216
	講師料(奈良県)	17,000	17,000
	会場費・設備使用料 (JART)	0	0
	計	207,216	207,216

基本、前回と同じファシリテータで実施する予定。現ファシリテータの都合がつかなければ、10月に追加予定の新ファシリテータの方に担当して頂く必要あり。実技担当箇所についても未検討。

#### (2) 奈良県診療放射線技師会関係

##### ① 漏洩線量測定講習会

会場収集型を検討している。準備不足で10月開催が難しい現状なため、延期とさせて頂きたい。2022年度漏洩線量測定講習会の延期について審議をお願い致します。

##### 【質疑】

日浦理事：告示研修の開催日時を広報してもよいですか。開催責任者とスタッフの講師料について前回同様スタッフ分を奈放技が補填する

ことについては予算案が通ったら承認されたという扱いでよいですか。前回はその都度審議しますとなっていました。

高谷会長：予算案に含まれているのですね。財務理事どうですか。

山田理事：よいと思います。

JARTから出る分に関しても予算案に含めてよいですか。以前からそうでしたが、皆様のご意見を伺いたいです。

高谷会長：但し書きを入れておくのはどうですか。

山田理事：日浦理事が仰ったのは、予算案が通ったら講師料の件も承認されたことになるということですか。予算案の審議のみだけです、それは結び付かないのではないかですか。

高谷会長：講師料の件を含んでおりますと口頭で説明していただいて、審議はこのままでよいです。JART分の記載に関しては分かるようになっていれば、説明ができると思います。

日浦理事：広報についてはどうですか。

高谷会長：会場は大丈夫ですか。

池口副会長：控室をどうするかですが、座学会場と実技会場はありますので、開催は可能と考えています。

高谷会長：開催2か月前には報告が必要ですので、間に合うように相談してください。

小林副会長：JARTの事業ですが、広報のタイミングは開催県が決めてよいのですか。

日浦理事：特に指定がありません。

小林副会長：広報範囲は奈良県だけですか。

日浦理事：特に指定がありません。開催前申請を出すと、本部のホームページに載ります。

##### 【審議事項】

告示研修(実技研修)奈良県(3・4回目開催)予算案について  
保留【0】反対【0】賛成【15】

2022年度漏洩線量測定講習会の延期について  
保留【0】反対【0】賛成【15】

##### 2. 広報関連事項(高田太輔広報委員長)

###### (1) 鹿苑ニュースNo.285発行

9月13日入稿予定(到着次第、梱包・発送)

###### (2) メールアドレス流出のお詫びについて

インフォメール配信、ホームページ掲載



## 鹿苑ニュース掲載

- (3) 事務所で使用するプリンタ複合機の選定と購入  
8月中に各委員長より意見を集約、9月1日に購入、設置完了
- (4) 鹿苑ニュース No.286 発行準備：11月発行予定  
巻頭言、イベント開催案内、参加記
- (5) ホームページ関係（秋山敬純ホームページ委員長）  
2022年7月12日

第24回 近畿救急撮影セミナーのご案内

2022年7月22日

組織委員会 北・西地区懇話会 現地開催 “延期”  
のご案内

2022年8月4日

「放射線フェスタ2022」開催のお知らせ

2022年8月5日

奈放技 学術大会2022 会員研究発表の演題募集について

2022年8月10日

メールアドレス流出に関するお詫び

2022年8月16日

第114回 MR Conference 定例研修会のお知らせ  
第32回 日本乳癌検診学会学術総会 マンモグラフィポジショニングコンテストのお知らせ

2022年8月25日

磁気共鳴(MR)専門技術者認定試験 直前対策 on the web のご案内

2022年8月31日

組織委員会 2022年度 北・西地区懇話会 振替開催のお知らせ

2022年9月2日

第48回 奈良県RIミーティング開催のお知らせ  
以上、掲載しました。(9月7日現在)

## 【質疑】

辻村理事：プリンタにパスワード設定していますか。

高田理事：設定はしていません。

高谷会長：運用を考えていきたいと思います。使用者の方は当面、高田理事に声をかけるようにしてください。

小林副会長：次回の鹿苑ニュースの原稿締め切りはいつですか。

高田理事：10月末になると思います。

## 【審議事項】なし

3. 福利厚生関連事項（玉井宏征福利厚生委員長）
- (1) 2022年度厚生事業について
- ①秋の厚生事業：飛鳥石舞台古墳 ハイキングツアード  
日 時：2022年11月6日（日曜日）  
会 場：飛鳥・石舞台古墳  
会 費：会員・会員家族・非会員￥100  
小学生以下無料  
②第69回近畿地域診療放射線技師会野球大会  
日 時：2022年11月23日（木曜日：祝日）  
場 所：貴志川スポーツ公園 野球場  
(紀の川市貴志川町井ノ口 1411-10)  
時 間：9:00より

## (2) 福利厚生事業予算案について

## ① 第69回近畿地域診療放射線技師会野球大会

	科 目	本年度予算
収入	参加費（参加費徴収なし）	—
	事業対策費	100,000
支出	計	100,000
	各県負担金	36,000
	旅費交通費(20名)	40,000
	食事（弁当代20名）	20,000
	雑費	4,000
	計	100,000

## ② 秋の福利厚生事業「ハイキング」

	科 目	本年度予算
収入	参加費（大人100・小人無料）	—
	参加者（大人20名 小人10名）	2,000
	事業対策費	40,000
支出	計	42,000
	石舞台入场料（大人300 小人100）	7,000
	印刷費（ポスター・しおり等）	10,000
	景品	30,000
	雑費	5,000
	計	42,000

## (3) 新年情報交換会の開催日について

開催日時：2023年1月29日（日）公開講座後（予定）

COVID-19感染状況によって開催及び中止を今後検討

## 【質疑】

高谷会長：ハイキングのポスターはできていますか。

玉井理事：鹿苑ニュースの発行に間に合いませんでしたので、ホームページに掲載していただきます。  
QRコードを載せて、そこから登録してもらい参加者を把握したいと思います。

高谷会長：予算案の内訳を作成してください。

## 【審議事項】

第69回近畿地域診療放射線技師会野球大会の予算案について 保留【0】反対【0】賛成【15】

秋の福利厚生事業「ハイキング」についての予算案について 保留【0】反対【0】賛成【15】

## 4. 安全管理関連事項（吉田真大安全管理委員長）



## (1) 医療安全(主担当: 池口副会長)

## ① 医療安全ネットワーク会議

7/20(水)「輸液の血管外漏出によりスキン・テアを来た症例」について開催 参加者 1名

8/31(水)「患者私物を取り間違えたことにより感染の危険性が発生した事例」について 参加者 1名

次回 9/21(水)開催

「MRI撮影室に磁性体車イスで入室した事例」

## ② 医療安全をテーマにした研修会を行う

研修会に関しては組織委員会の懇話会で連携して開催してはどうかと検討中

## (2) 原子力災害時対応 (主担当: 小林副会長)

## ① サーベイチームについて

小林副会長をリーダとして 8名の方がメンバーとして在籍していることを確認。現在はメンバーの募集や更新の予定はありません。

## ② 原子力災害時の放射線被ばく防止に関する研修会

2023年2月に開催予定。日程は次回の会議で決定。

## (3) 災害対策・対応 (主担当: 葛和外部委員)

既存の JART マニュアルに沿って奈良モデル (奈放技版 DCP) を作成する。まずは他府県でどのように行っているか情報収集する。

## (4) その他

## ① 広報活動

安全委員会だより Vol4 (7/20 の医療安全ネットワーク会議の参加記) を鹿苑ニュースに掲載

## ② 被ばくガイドブックのアップデートについて

被ばくガイドブックをアップデートしていく方向で話し合いを進めていますが具体的な内容や目的などを今後の委員会で話し合いしていく

## 【質疑】

古川理事: 奈放技版 DPC とは何のことですか。

吉田理事: DCP の間違いです。

## 【審議事項】なし

## 5. 組織関連事項 (辻村恭平組織委員長)

## (1) 放射線フェスタについて

開催日時: 2022年8月21日(日)10:00~15:00

開催場所: 近鉄百貨店橿原店 1F メビウスホール  
物品について、「がん検診関連」のリーフレットは、在庫があるのでそれを活用。ティッシュ発注は行う。

## ① 物品について

測定者用椅子について、古川委員から写真を辻村委員長へ送付し確認する。マスクについて、着用されていない方への配布用に40枚程度(奈良医大の在庫)を技師会で準備する。パンフレットについて残80部ほどあるので活用する。封筒について「診療」がついた封筒への詰め替えを行う。

骨密度測定装置についてレンタル会社より辻村委員長の自宅へ配送されるので当日持参する。

## ② 集合について 8時40分頃に集合する。

## ③ 設営について

前日設営は近鉄スタッフのみで行う。技師会スタッフは当日のみの参加。

## ④ 役割分担表について、骨密度測定の担当者、山口外部委員→古川委員に変更する。

## ⑤ その他

COVID-19 感染症対策として、講習会等と同様に問診票について記載、当日持参することとする。

イベント開催報告書		公益社団法人奈良県診療放射線技師会	
委員会	組織	会員	0名
報告者	辻村恭平	一般	45名
プログラム・内容:			
組織事業2022年度放射線フェスタ 1. 超音波密度測定(無料) 2. 診療放射線技師のしごと紹介 3. 各種がん検診の紹介・啓発 4. パンフレット・ポケットティッシュ配布			
参加スタッフ 会長 高谷 英明(国保中央病院) 副会長 小林 謙宏(田辺病院) 組織委員長 辻村 恭平(JOHO大和郡山病院) 委員 古川 卓也(近畿奈良病院) 委員 野崎 明宏(奈良医大附属病院) 委員 細川 優之(西奈良中央病院) 外部委員 安田 俊介(奈良医大附属病院)			
コメント: 骨密度測定・ブース来場者45名。イベント開催中各スタッフが役割分担をおこない骨密度測定・診療放射線技師のしごと紹介等・説明をおこなった。新型コロナ感染症は収まっている状況であったが、感染対策を行ないイベント開催できた意義は大きいと想える。			
			

## 放射線フェスタ 2022 (2022年8月21日) 決算書

	科 目	本年度予算	本年度決算
収入	参加費 (参加費徴収なし)	—	—
	事業対策費	156,000	120,720
	計	156,000	120,720
支出	会場費	20,000	24,640
	賃借料	70,000	69,940
	講師謝金	0	0
	旅費交通費	5,000	1,440
	消耗品費	5,000	6,965
	広告宣伝費	—	8,030
	印刷製本費	50,000	0
	通信費	0	0
	支払手数料	0	1,270
	雑費	6,000	8,435
計		156,000	120,720

## (2) 北・西地区懇話会 (振替開催) について

開催日時: 2022年10月7日(金)19:00~20:30

開催場所: Web 開催 (Zoom)

開催内容: 施設における「新型コロナ感染対策」

座長: 辻村委員長

講演内容: 1部 奈良県西和医療センター

2部 奈良県総合医療センター



2022年7月29日、現地開催（ミグランス）予定であったが、COVID-19感染急拡大を考慮して延期。

### （3）放射線フェスタⅡについて

開催日時：2022年10月16日（日）10:00～15:00

開催場所：ならファミリー 1F らくだ広場

（使用料10万円：税別）

事業目的：県民に向けての健康増進及びがん検診受診率向上の一助となるような情報提供

事業内容：骨塩定量測定・放射線知識の普及・啓発・検査画像紹介

被ばく相談：担当者未定

詳細：後援名義使用申請承認：奈良県 奈良市

### 放射線フェスタⅡ2022 予算（案）

	科目	本年度予算
収入	参加費（参加費徴収なし）	—
	事業対策費	219,200
	計	219,200
支出	会場費	110,000
	賃借料（骨密度装置レンタル費用）	66,000
	講師謝金	0
	旅費交通費	4,700
	消耗品費	5,000
	会議費	—
	印刷製本費	20,000
	通信費	0
	雑費	13,500
	計	219,200

会場詳細について（ならファミリー1階らくだ広場）

### （4）レントゲン週間イベント

開催日時：2022年11月3日（木）10:00～15:00

開催場所：ミ・ナーラ 1階

開催内容：① X線を用いたがん検診の紹介と受診率向上に向けた啓発

#### ② X線検査の紹介

骨塩定量測定装置について、ネットで検索してレンタルで使用する方向。

### レントゲン週間イベント予算（案）

	科目	2021度決算	本年度予算
収入	参加費（参加費徴収なし）	—	—
	事業対策費	171,274	181,660
	計	171,274	181,660
支出	会場費	57,860	57,860
	賃借料	69,720	69,720
	講師謝金	0	0
	旅費交通費	4,780	6,080
	消耗品費	1,518	2,000
	広告宣伝費	9,636	10,000
	印刷製本費	20,790	21,000
	通信費	0	0
	雑費	6,970	15,000
	計	171,274	181,660

### （5）研修会等のSNSを利用した広報活動について

公式LINE含めその他SNSについて、辻村委員長、高田委員、山口外部委員を中心に調査し検討を進める。

### 【質疑】

日浦理事：公式LINEについて予算を考えていますか。

高田理事：調査しているところです。毎月1000通を超えると料金がかかりますが、まだ調査中です。

日浦理事：他の委員会も入ってきますので、そのところも視野に入れて検討をお願いします。

山田理事：開催報告書についてはテンプレートを使用してあげていただいたほうがよいと思います。

### 【審議事項】

#### 放射線フェスタⅡ 2022 予算（案）について

保留【0】反対【0】賛成【15】

#### レントゲン週間イベント予算（案）について

保留【0】反対【0】賛成【15】

### III. 特別委員会

#### 1. 創立70周年記念事業

##### 【開催報告】

第2回準備会議 Web開催 2022年8月 9日（火）

第3回準備会議 Web開催 2022年8月29日（火）

##### 【決定事項】

会場：ホテル日航奈良 4階 飛天の間

日時：2022年11月19日（土）14:00～17:00

テーマ：「たゆまぬ進化 さらなる真価」

開催形式：参集型（オンライン）開催

記念講演：今西酒造株式会社 十四代蔵主 代表取締役

今西将之氏「酒の神が鎮まる地 奈良県三

輪の歴史とみむろ杉の酒造り」定員100名

特別講演：日本診療放射線技師会会长 上田克彦氏

「診療放射線技師の将来と役割」（ビデオ）

##### 【経過事項】

企業（賛助会員、非会員）宛、協賛、広告依頼

招待状（行政関係、養成学校、表彰者） ポスター作成

#### 創立70周年記念式典予算（案）

	科目	予算
収入	会員寄付金	200,000
	賛助会員協賛費	850,000
	事業対策費	500,000
	計	1,550,000
支出	会場費 会場使用料	550,000
	記念式典費	250,000
	記念講演講師謝礼	300,000
	司会者謝礼	50,000
	交通費	50,000
	プログラム費	100,000
	周年記念誌作成費	250,000
	計	1,550,000

【質疑】なし

【審議事項】

創立70周年記念式典予算（案）について

保留【0】反対【0】賛成【15】

2. 事務所移転に関する検討委員会

特になし

IV. 常置委員会

1. 定款改正委員会（水野吉将委員長）

(1) 第2回定例理事会において理事から会員資格喪失者関連に係る箇所の改正、追加をと提案があり、理事ならびに定款改正等委員とメールにて検討をした結果、委員会からは「会費納入規程等は現状のままで運用」ということにしたい。

(2) その他、会費納入規程の65歳以上の会員の規程部分については検討中である。

【質疑】なし 【審議事項】なし

2. 表彰委員会（小林勝宏委員）

(1) 創立70周年記念式典における感謝状贈呈について  
これまで、当会の活動にご協力をいただいている各種研究会、賛助会員、海外交流事業の関係団体に対し、5年ごとの周年記念式典において感謝状を贈呈しており、今年の11月19日（日）に開催予定の創立70周年記念式典においても各協力団体に対し感謝状の贈呈を行う予定をしています。

【質疑】なし

【審議事項】

創立70周年記念式典における感謝状贈呈について

保留【0】反対【0】賛成【15】

3. 海外交流委員長（池口俊孝委員長）

特になし

奈良医大：COVID-19再拡大（第7波）のため、実習生受け入れ停止

【質疑】なし 【審議事項】なし

4. その他

辻村理事：告示研修についてですが、先日の日本診療放射線技師会学術大会での講演で助成金が出るとのお話がありました。それはどうなっていますか。

高谷会長：要件を満たし、申請をすれば助成金が出るようです。メールで資料を送ります。また、ホームページに掲載したいと思います。

池口副会長：福利厚生の野球大会の予算についてですが、

18年度の交通費はバスを借りていたのでないですか。

玉井理事：このときはそれぞれが車で行ったときのものです。

池口副会長：それでしたら結構です。

秋山理事：奈良県の学術大会についてですが、他県への広報はどのようにお考えですか。

細川理事：まだ検討中ですが、ポスターを各施設に置いていただこうかと思います。

高谷会長：他県への広報は他県のホームページに掲載を依頼します。共通のフォーマットを作るというお話をしたので、近畿の後藤近畿地域理事から案内が来ると思います。それまでは、近畿の会長の連絡リストを使って広報します。

細川理事：それではポスターのデータを高谷会長に送りますのでよろしくお願ひいたします。

秋山理事：他府県からも掲載依頼がくるということですね。

日浦理事：近畿の技術学会は日本放射線技術学会近畿支部と記載した方が良いと思います。技術学会の方にも広報するのですか。広報するのでしたら、ホームページから申し込めると思います。

高谷会長：共通フォーマットができるまでの間、どのように広報するか確認しますので、技術学会については少しお待ちください。

池口副会長：会員・非会員の判別はどのようにすればよいですか。口頭しかないです。

高谷会長：フォーマットがないので、しばらくは独自で確認するしかないと思います。

V. 審議事項まとめ

奈良県診療放射線技師会 学術大会2022予算案について 保留【0】反対【0】賛成【14】

竹中理事 遅刻のため

告示研修(実技研修)奈良県(3・4回目開催)予算案について 保留【0】反対【0】賛成【15】

2022年度漏洩線量測定講習会の延期について

保留【0】反対【0】賛成【15】

第69回近畿地域診療放射線技師会野球大会の予算案について 保留【0】反対【0】賛成【15】

秋の福利厚生事業「ハイキング」についての予算案について  
保留【0】反対【0】賛成【15】

放射線フェスタⅡ 2022 予算（案）について  
保留【0】反対【0】賛成【15】

レントゲン週間イベント予算（案）について  
保留【0】反対【0】賛成【15】

創立70周年記念式典予算（案）について  
保留【0】反対【0】賛成【15】

創立70周年記念式典における感謝状贈呈について  
保留【0】反対【0】賛成【15】

## VII. 経過事項

2022年度「診療放射線技師のためのフレッシャーズセミナー」 7月9日（土）～7月23日（土）

奈良県医療安全推進センター第33回医療安全管理者ネットワーク会議 Web 7月20日（木）

診療放射線技師法一部改正に伴う令和3年厚生労働省告示 第273号研修における実技研修 7月30日（土）・31日（日）

2022年度第3回学術委員会 ハイブリッド開催 8月2日（火）

第2回創立70周年記念式典準備会議 Web 8月9日（土）

第3回組織委員会 Web 8月17日（水）

放射線フェスタ近鉄百貨店橿原店 1F メビウスホール 8月21日（日）

2022年度 奈ラーニング テーマ「AI」 嶽橿会館大ホール 8月25日（木）

第3回創立70周年記念式典準備会議 Web 8月29日（月）

第2回安全管理委員会 Web 8月30日（火）

JJ合同会議 Web 9月1日（木）

2022年度第1回近畿地域教育委員会 ハイブリッド開催

近畿地域診療放射線技師会会长副会長会議（大阪府診療放射線技師会事務所） 9月3日（土）

第38回日本診療放射線技師学術大会（神戸コンベンションセンター） 2022年9月16日（金）～18日（日）

## VII. 今後の予定

医療安全ネットワーク会議「MRI撮影室に磁性体車イスで入室した事例」Web開催 9月21日（水）

第4回学術委員会 ハイブリッド開催（奈良県立医科大学 教育棟1階） 10月4日（火）

北・西地区懇話会 「新型コロナ感染対策」 Web開催 10月7日（金）

放射線フェスタⅡ（奈良ファミリー らくだ広場） 10月16日（日）

第4回組織委員会 Web開催 10月19日（水）

レントゲン週間イベント ミ・ナーラ 1階 11月3日（木）

秋の厚生事業 飛鳥 石舞台古墳 ハイキングツアー 11月6日（日）

奈良県診療放射線技師会創立70周年記念・県民公開講座（ホテル日航奈良 4階 飛天の間） 11月19日（土）

第69回近畿地域診療放射線技師会野球大会（和歌山県） 11月23日（木）

奈良県診療放射線技師会 学術大会 2022 ハイブリッド開催 11月27日（日）

診療放射線技師法一部改正に伴う令和3年厚生労働省告示 第273号研修における実技研修（奈良県立医科大学） 12月17日（土）・18日（日）

県民公開講座「小児救急」（奈良県社会福祉総合センター） 2023年1月29日（日）

## VIII. 次回理事会について

2022年度第4回定期理事会

2022年11月15日（火）19時00分～

場所：奈良県立医科大学 嶽橿会館 大ホール

※尚、COVID-19の影響によりWeb開催の可能性もある。

以上  
この議事が正確であることを証するために議長及び議事録署名人は記名捺印する。

2022年9月20日（火）

議長 会長（代表理事） 高谷 英明 印

議事録署名人 水野 吉将 印

高嶋 敏光 印

奈良県橿原市兵部町2番9号フレガビル4F

公益社団法人 奈良県診療放射線技師会



2022年10月24日

会員の皆様

(公社)奈良県診療放射線技師会

会長 高谷 英明

**奈良県開催の第3・4回診療放射線技師法一部改正に伴う****令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修****日程変更のお知らせ**

平素は、当会の事業にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

奈良県で開催予定の第3・4回診療放射線技師法一部改正に伴う令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修(以下、告示研修)に関して、下記の通り開催日時が変更となりました。鹿苑ニュース掲載の第3回定例理事会議事録内の開催日時より変更となっております。お間違えのないようよろしくお願ひ申し上げます。

**第3・4回告示研修の日程変更のお知らせ****第3回告示研修**

**2022年12月17日(土) → 2023年2月25日(土)**

**第4回告示研修**

**2022年12月18日(日) → 2023年2月26日(日)**

問い合わせ先；(公社)奈良県診療放射線技師会

理事 錦 一聰

メールアドレス：nishiki@rokuen.jp